

1. 施設概要

施設名	高知市勤労者交流館	施設所管課	産業政策課
指定管理者名	公益財団法人高知勤労者福祉サービスセンター		
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日	公募・指名の別	公募
設置目的	中小企業に雇用される勤労者等の勤労意欲及び技能の向上並びに文化教養及び福祉の充実を図るため		
業務内容	1. 施設の利用に関すること 2. 施設及び設備の維持管理に関すること 3. 交流館事業に関すること		
施設内容	敷地面積 1,789.57㎡ 建物延床面積 1,435.26㎡ 鉄筋コンクリート造陸屋根2階建 1階 体育室・事務室2室・喫茶室 2階 研修室(第1・第2)・和室(第1・第2)・会議室・特別会議室等 駐車場 51台(内26台分は貸貸駐車場)		
職員体制	常勤: 3人	非常勤: 人	その他: 0人 合計: 3人

2. 利用状況

平成 27 年 3 月 31 日現在

	H26年度 (1年目)	H27年度 (2年目)	H28年度 (3年目)	H29年度 (4年目)	H30年度 (5年目)
利用者数	36,349人	人	人	人	人
開館日数	292日	日	日	日	日
利用率	37.2%	%	%	%	%
事業開催数	31事業 284(延べ回)	事業 (延べ回)	事業 (延べ回)	事業 (延べ回)	事業 (延べ回)

※ [利用率算出方法の説明] 開館日×使用部屋数/開館日×部屋数

3. 収支状況

単位: 千円

	H26年度 (1年目)	H27年度 (2年目)	H28年度 (3年目)	H29年度 (4年目)	H30年度 (5年目)
収入	指定管理料	9,288			
	利用料金収入	6,004			
	事業収入	2,400			
	その他	0			
	収入計	17,692			
支出	管理運営費	12,210			
	人件費	5,692			
	その他	0			
	支出計	17,902			

4. 運営状況指標

	H26年度 (1年目)	H27年度 (2年目)	H28年度 (3年目)	H29年度 (4年目)	H30年度 (5年目)
① 事業収支(収入-支出)	△210千円	千円	千円	千円	千円
② 利用料金比率	33.9%	%	%	%	%
③ 人件費比率	31.8%	%	%	%	%
④ 外部委託費比率	19.9%	%	%	%	%
⑤ 利用者1人あたり管理費	493円	円	円	円	円

5. その他特記事項

26年度 ①1階障害者用トイレ便器詰り(約10千円),②排煙ホーロー修繕(体育室・相談室・和室)(約181千円),③第2研修室ライトアップ修繕(約38千円),④1階多目的ホール修繕(約7千円),⑤体育室ライトコート取替(約27千円)
⑥研修室・事務室・トイレスイッチ修理・机コトラ修繕(54千円),⑦多目的ホール7鍵(約32千円),⑧汚水本管高圧水洗浄(27千円),
⑨汚水樹イバ-補修(約32千円),⑩駐車場文字消し(約32千円)

6. 評価結果

(1) 総合評価(審査委員会評価)

年度	総合評価	コメント(評価のポイント, 課題及び改善点)
26	S	適切な管理運営がなされていると考えますが, 緊急時の訓練を計画通り実施し, 緊急時の対応に関する取組の強化を図ってください。また, 修繕計画の策定について, 施設所管課と協議を行い, 適切な施設管理を行っていただくようお願いします。なお, 利用者の増加につながるよう, 利用者ニーズの把握と講座の充実を期待します。
27		
28		
29		
30		

(2) 1次評価(施設所管課評価)

年度	1次評価	コメント(評価のポイント, 課題及び改善点)
26	S	協定書・仕様書・事業計画に基づき適正な管理が行われている。収支状況については, 今年度から喫茶事業を指定管理業務の範囲から外したことにより, 事業収支は赤字ではあるが数値は大幅に改善されている。 利用状況については, 昨年度近隣に開設された下知コミュニティセンターの影響も少なく, 強みである広い駐車場を活かした運営が行われている。今後も貸室利用者や講座受講者に対し積極的にアンケートなどを行い, 市民のニーズをより反映した事業の開催を期待したい。 施設管理においては, 修繕箇所増加による指定管理者の負担が拡大していることから, 修繕計画の立案が急務である。
27		
28		
29		
30		

(3) 自己評価(指定管理者自己評価)

年度	自己評価	コメント(評価のポイント, 課題及び改善点)
26	S	事業活動を昨年度末と比較すると, 利用料金収入5,252千円→6,004千円, 事業開催26事業(延べ225回)→31事業(延べ284回)であり, これに伴い利用率も34.0%→37.2%であった。 施設管理においては, 1985年に建てられた施設であることから, 老朽化に伴う施設の修繕箇所が年々増えてきており, 事業収支のマイナスは修繕費用の拡大が理由と考えられ, 利用環境にも悪影響を与えている。日々のメンテナンスを心掛けてはいるが, 将来を見据えた修繕計画が必要である。
27		
28		
29		
30		

7. 評価シート（自己評価・1次評価）

(1) 履行の確認

中項目	小項目	確認内容	自己評価	1次評価
①事業、業務の履行状況				
	使用許可等	使用許可等申請、受付は利用統計等が作成され、適正に行われているか。	3	3
	利用料金等の徴収状況	徴収、減免、還付等は帳簿等が作成され、適正に行われているか。	3	3
	苦情・要望への対応	苦情・要望処理の処理は適切か。	3	3
	職員配置	基準に基づき、適切な人員配置がされたか。	3	3
	職員研修	従業員に対し、施設の管理運営に必要な研修は実施されたか。	3	3
	事業計画書	指定管理業務が事業計画書に沿っているか。	3	3
	事業実施状況	事業の実施は仕様書等に適合しているか。	3	3
	法令の遵守	法令に基づく検査、届出等はなされているか。	3	3
	緊急時の対応	緊急時のマニュアルが整備され、従業員訓練の実施や事故発生時・緊急時の対応は適切か。	2	2
	保険加入	仕様書等に定める保険に加入しているか。	3	3
	個人情報	個人情報の取扱い、従事者への研修、漏洩した場合の対策がとられているか。	3	3
	情報公開	保有する文書が分類・整理され、閲覧等の請求があった場合にに応じているか。	3	3
②自主事業の実施状況				
	事業の実施状況	自主事業は事業計画に基づき、公平に実施されているか。	3	3
	事業実施体制	自主事業の実施体制・職員配置は適切か。	3	3
③施設の維持管理				
	施設・設備の維持管理	施設・設備の維持管理基準が守られ、不具合が生じた場合は速やかに報告・対応しているか。	3	3
	清掃業務の実施状況	清掃は確実にこなされているか。	3	3
	警備業務の実施状況	マスターキー等の管理、警備業務は適切に行なわれているか。	3	3
	廃棄物処理業務の実施状況	廃棄物処理は適切に行なわれ、運搬・処理を委託する場合は許可業者と契約しているか。	3	3
	外部委託の実施状況	過度な外部委託は行なわれていないか。	3	3
	備品管理等の実施状況	備品の管理・点検・保守は適切におこなわれているか。	3	3
20項目×3点=60点			59	59
			60	60

評価基準（再掲）

点数	小項目の評価基準
3	概ね協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営がなされ、適正であると認められる。
2	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営がなされておらず、簡易な改善や一部目標の見直しを要する。
1	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営が殆どなされておらず、早急な改善が必要である。

(2) サービスの品質

中項目	小項目	確認内容	自己評価	1次評価
①維持管理業務				
	経費節減の取り組み	設備管理・修繕等が計画的に実施されているか。	4	3
	備品等の管理	備品等の保守点検・補充は計画的に実施されているか。	4	3
	運営体制	安定かつ継続的な運営を行なう上で、適正な組織体制・配置計画であるか。	4	4
②運営業務				
	利用案内	パンフレット・施設内利用案内・行事開催案内等は判り易く、使い易いものになっているか。	4	4
	職員の接客態度	各担当者の接客態度は良好か。	4	3
	利用者満足度の把握	利用者アンケートが実施され、運営に反映されているか。	4	3
	利用促進に向けた取り組み	利用者の増加や利便性を高めるための取り組みが行なわれているか。	4	4

各種事業の内容	各種事業（講座・イベント等）は施設の設置目的に合致した事業であり、利用者が満足できる内容であったか。	4	4
市民サービスの向上	各種事業（講座・イベント等）は市民サービスの向上につながったか。	4	4
勤労行政への貢献	勤労者の技能や福祉の向上に対する取組の実績や可能性はあるか。	4	4
10項目×4点=40点		40	36
		40	40

評価基準（再掲）

点数	小項目の評価基準
4	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準以上の運営がなされ、優れていると認められる。
3	概ね協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営がなされ、適正であると認められている。
2	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営がなされておらず、簡易な改善や一部目標の見直しを要する。
1	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営が殆どなされておらず、早急な改善が必要であり、目標の全面的な見直しが必要である。

(3) サービスの安定性

中項目	小項目	確認内容	自己評価	1次評価
①事業収支の状況				
	事業収支	事業収支が赤字の場合、黒字化のための改善策が実施されているか。	3	3
	人件費比率	支出に占める人件費の割合が減らされていないか。	3	3
	外部委託費比率	支出に占める外部委託費の割合が過度に偏っていないか。	3	3
3項目×3点=9点			9	9
			9	9

評価基準（再掲）

点数	小項目の評価基準
3	事業計画・収支計画等に基づく、経営がなされている。
2	事業計画・収支計画等に基づく、経営がなされているが、簡易な改善や一部業務の見直しを要する。
1	事業計画・収支計画等に基づく、経営が殆どなされておらず、早急な改善が必要であり、業務の全面的な見直しが必要である。

(4) 評価

評価分類	配点	換算率	総評点	ウェイト	1次評価 評点	1次評価 換算後 総評点数	評価
(1) 履行の確認	60	×0.500	30	60%	59	29	S
(2) サービスの品質	40	×0.375	15	30%	36	13	
(3) サービスの安定性	9	×0.600	5	10%	9	5	
合計	109	—	50	100%	104	47	

(評価基準再掲)

総評点数	46点以上	41点以上	36点以上	35点以下
評価	S	A	B	C
評価基準	適正に管理運営が行われており、優れた実績をあげている。	適正に管理運営が行われている。	概ね適正であるが、一部改善を期待する。	改善が必要である。